

サイクリングツアーによる「まちなか」と「中山間地域」の魅力発見

～大学生・留学生・地域住民との協働を通して～

団体名：人間科学部スポーツ学科地域スポーツマネジメントゼミナール 代表者名：西村貴之

はじめに（背景・目的・目標）

近年、全国各地で広がりを見せている「自転車を活かしたまちづくり」の一環として、金沢公共レンタサイクル「まちなか」を活用し、金沢市内中心部をコースにした「まちなかサイクリングツアー」と、金沢駅をスタートし金沢市近郊の中山間地域である直江谷地区へと向かう「金沢サイクリングツアーin直江谷」の2つのツアーを行った。

この取り組みは、自転車を活かしたまちづくりにおいて実績のある「地球の友・金沢」、「まちなか事務局」、「金沢星稜大学人間科学部地域スポーツマネジメントゼミナール」の3団体と金沢市歩ける環境推進課、同農業水産振興課とが協働で実施した。また、本取り組みは「2017年度金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業（採択実績団体部門）」に採択された。

本取り組みに先行して、「地球の友・金沢」、「まちなか事務局」では2016年度から「金沢サイクリングツアーin直江谷」を実施していた。そこでの実績をふまえて、2017年度は「まちなか」を複合的な社会課題解決の手段とし、自転車の活用による健康増進、観光振興、国際交流、交通安全教育、異文化・異世代交流、市民の移動支援、中山間地域の活性化等に貢献するプラットフォームと位置づけ、その公共的価値を高めることを事業のビジョンとした（図1）。

筆者が指導教官となっている「地域スポーツマネジメントゼミナール」では、取り組みの事前企画及び準備、当日運営、事後の報告会参加（資料作成を含む）までの一連のプロセスをゼミナール活動における、地域連携でのプロジェクト型学修（Project Based learning）として位置づけた。

活動内容

平成29年度中の主な活動及び関連することからについて以下に示す。また、中核的な活動については、その概要を記載する。



図1 事業のビジョン

H29/5/9：連携3団体での協議開始（以後適宜開催）

H29/6/17：金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業

公開プレゼンテーションをへて採択決定

H29/6/23：まちなかサイクリングツアー試走

H29/9/18：金沢サイクリングツアーin直江谷試走

H29/10/7：まちなかサイクリングツアー実施

（概要）ゼミナール所属学生、教員、外国人留学生、関係スタッフ合わせて24名が参加し、市内3コース（ひがし茶屋街コース、にし茶屋街コース、兼六園コース）をまちなかで回った。



写真 まちなかサイクリングツアー

まちなかサイクリングツアー終了後、「まちなかの魅力発見」をテーマにワークショップを行い、その内容をまとめ、ツアーマップを作成した。



写真 作成したツアーマップ

H29/10/8：金沢サイクリングツアーin直江谷実施
(概要) 一般参加者 11 名、スタッフ（学生を含む）6 名の合計 17 名が参加した。金沢駅前～直江谷間を往復する全 34km のコース。当日は直江谷地区で「どんぐりとガラスの里まつり」が開催されており、ツアー参加者は休憩を兼ねて立ち寄り、地域住民との交流を楽しんだ。また、ゼミナール学生 5 名がボランティアとして「どんぐりとガラスの里まつり」の運営をサポートした。



写真 金沢サイクリングツアーin直江谷

H29/11/10:第 6 回自転車利用環境向上会議（於：愛媛県松山市）に参加、学生がポスター発表

H29/11/17:どんぐりとガラスの里まつり反省会で直江谷地域住民とツアーのふりかえりを実施

H30/3/18:市民と行政の協働フォーラムで活動報告

成果、結果の考察

「まちなかサイクリングツアー」では、日本人学生や留学生が、金沢の魅力、そして、自転車ならではの風景を発見することができた。参加者アンケートからは「徒歩から自転車になるだけで、行動範囲がかなり広がる」、「今まで、お店とか観光地ばかりに行っていたが、知らない所、隠れ家的な所にあえて行きたくなった」といった意見があがった。また、地球の友・金沢としては「楽しみながらの交通安全教育」という今後の活動への示唆を得た。「金沢サイクリングツアーin直江谷」では、ツアー参加者及び学生が、直江谷地域の自然豊かな景色や、地元住民のあたたかさを知り、地元住民は「地域外から見た自地域（直江谷）の魅力」に気づきを得た。その気づきは来訪客を意識した、「見晴らし台」や「自転車用ラック」の設置という、地域住民の主体的な行動を呼び起こした。本ゼミにおいては、2 名の学生が今回の取組みを「アクションリサーチ」や「フィールドワーク」の手法で卒業研究へと展開させた。以上のとおり、今回の協働を通じて、金沢公共レンタサイクル「まちなか」の活用可能性が確認され、そしてその可能性は多くの領域への発展が期待できる間成果を共有することができた。

今後の課題、展望

平成 30 年度に関しては、平成 29 年度からの継続取組みとして H30/7/1 と 10/14 の 2 回の日程で、「金沢サイクリングツアーin直江谷」が関係団体の協働で開催された。本ゼミは、7/1 はツアーサポートスタッフとして参加し、10/14 は直江谷地域での「どんぐりとガラスの里まつり」での「こどものあそび場ブース」の企画・運営という新たな役割を地元地域から任せられることになった。地域や関係団体の実情に合わせ、取組を継続していきたいと考えている。

（参考引用文献）

地球の友・金沢 ほか（2018）『サイクリングツアーによる「まちなか」と中山間地の魅力発見』事業報告書